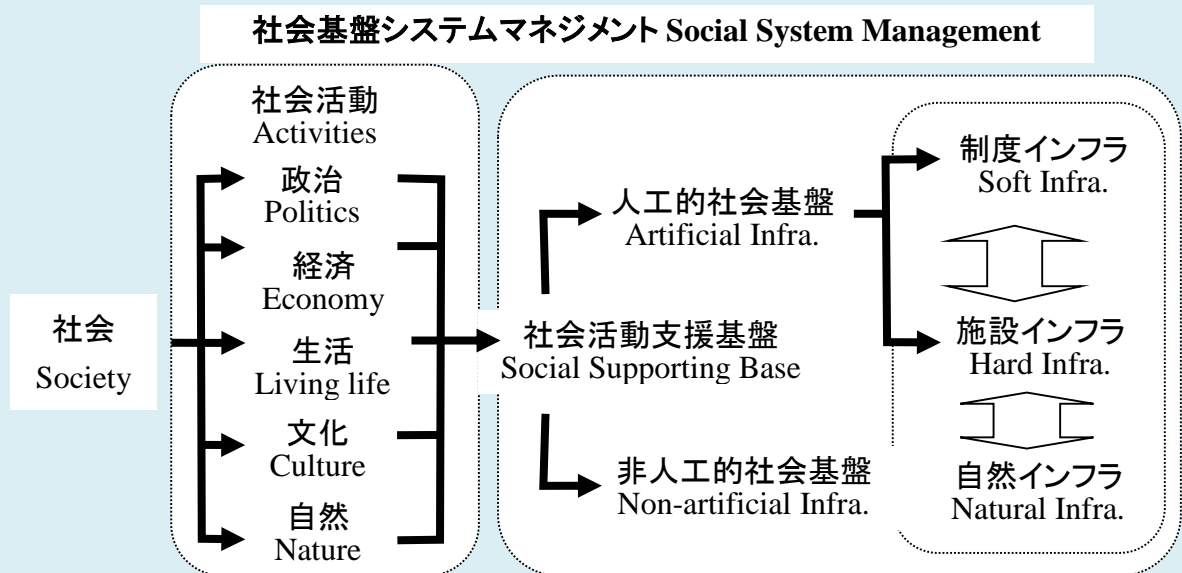


## NPO活動に必要なこと

(特非)高知社会基盤システム研究センター 理事長  
草柳 俊二



高知社会基盤システム研究センターは2004年に高知工科大学の社会システム工学科(当時)の教員が中心になって設立したNPOである。設立以来、10年間、下図に示す社会基盤システムマネジメントの概念の下に国内外で様々な活動を行って来た。



本NPOは収益事業活動として、建設プロジェクトで発生する品質問題や契約関連問題のコンサルティング業務を行って来た。この業務は第三者技術集団として、問題発生要因を分析し、発注者、受注者そして地域住民にも納得できる具体的な解決方策提示して行くもので、地域貢献として手応えのある活動となっている。同時に、研究組織という立場からすると実践的な研究活動フィールドを見出すことが出来、やりがいのあるものとなっている。

NPOとしての非収益事業活動は収益事業活動で生み出した資金を基に行っている。代表的な事例は、日本の学生と海外の学生が共に学べるワークショップの継続的開催である。JICAの資金で遂行されているジャカルタ市の都市鉄道プロジェクトに高知工科大学、愛媛大学、名古屋大学、東京都市大学の学生、インドネシア側はバンドン工科大学他3校の学生が6ヶ月毎にプロジェクトに集結し、プロジェクトの遂行と共に発生する様々な問題を知り、その解決策を学ぶ。この人材育成スキームは、両国の学生の実践研究の場として、日本の学生にとっては国際対応力の向上といった面で着実に成果が表れている。

我が国ではNPO活動をボランティア活動として捉える傾向が見られる。NPO活動の最重要事項は活動資金の確保であり、しっかりした収益事業活動を持たなければ真の活動は出来ないと感じている。